

## 万引行為について不起訴処分を得た事例

## 刑事事件

## 事案の概要

男性 会社員

相談者は、大型ショッピングセンターで衣料品の**万引行為**を行ったところ、通報を受けた警察官から**任意同行を求められ**、その後複数回の取り調べを受けることとなりました。今後の事が不安になり、依頼することとなりました。

## 解決結果

**担当検事と連絡を取り**、すでに店側と**示談が成立していること**やこれまで前科がないこと、信頼できる監護者（妻）がいることなどを説明し、**不起訴を求める意見書**を提出しました。

結果的に**不起訴処分を得ることが出来ました**。

## 担当弁護士からひとこと

相談者が精神的にかなり不安になっていることもあり、警察と検察に対して弁護人が選任されたことを伝え、相談者本人が捜査機関と直接対応する作業をなるべく少なくするように心掛けました。

前科がないことや**被害弁償**をしていることからすれば、不起訴相当な事案でしたが、担当検事にも改めてその旨を説明したことで不起訴を得ることが出来ました。